



保護者会通信

2012年(平成24年)9月1日 No.7

編集・発行
京都ノートルダム女子大学
保護者会事務局
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1
TEL:075-706-3700 FAX:075-706-3707
e-mail: hogoshakai@notredame.ac.jp



会長挨拶
京都ノートルダム女子大学
保護者会会長 北村 茂樹

平成24年6月17日の保護者会総会で、昨年に引き続き会長を拝命いたしました北村茂樹と申します。本年度も保護者会活動に無我夢中で取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年3月11日に起こりました東日本大震災から1年数か月が経過しましたが、現地ではまだまだ復興が進んでおりません。総会で東日本大震災被災者支援ボランティア報告を拝聴し、本学教職員・



学長挨拶
京都ノートルダム女子大学
学長 戴内 稔
保護者会名誉会長

京都ノートルダム女子大学は、昨年(平成23年)創立50周年を迎え、同年12月10日、創立50周年記念式典を挙行いたしました。その折に、記念音楽CD「College Song & Hymns」の作成・配布や、キャンパス内の文化施設である本学の「茶室」の整備と、茶道裏千家宗室お家元から庵号「神徳庵」を戴く労を賜り、本学の創立50周年記念式典として誠に心強い協力とご支援を頂きましたことを、会長の北村茂樹様はじめ保護者の皆様に深く感謝いたします。

また、皆様より多大なご支援を頂いている創立50周年記念事業の北山キャンパス総合整備計画も

への制作助成(2) 文化的環境の充実 事業「茶室整備」への助成(3)新校舎の施設整備などの創立50周年記念事業への助成を行いました。本年も引き続き創立50周年記念事業としてシンポジウム・講演会等が企画されております。保護者の皆様にご参加いただける講演会もごさいいますので奮ってご参加いただきま

すようお願い申し上げます。なお、詳細については大学ホームページをご覧ください。

学校法人ノートルダム女学院の学校(ノートルダム学院小学校・ノートルダム女学院中学高等学校・京都ノートルダム女子大学)のなかで学校名に京都とあるのは女子大学だけであります。京都は日本の伝統と文化を受け継いできた場所であり、また新しいことにチャレンジする場所であり、すなわち温故知新の実践の場所であると考えます。

私は建学の精神である「徳と知」について、「徳」とは人生を歩んでいく中で困難に立ち向かい克服していくことで磨かれる人間性であり、「知」とは知識・知性・品性であると思います。私自身残りの人生のなかで「徳」を積み「知」を高めに、子どもに負けないように、また大人としての品格を備えた人間となるよう努力していきたいと思っております。

この5月29日、MOS世界学生大会事務局から、MOS世界学生大会2012日本大会選考結果のお知らせが本学に寄せられました。MOS「ユージニア館」が完成し、26年にはキャンパス整備が終了して、装いを新たに充実した教育研究施設が完成いたしました。

いま、大学は、本学で学ぶ学生の皆様の一ひとりの「学び」を支え、将来の希望を叶える(人)生設計の意識を高め、総合的な就業力を身につける力を育てるべく、多様な取り組みを行っています。その一つの中で、主体的・自主的な取り組みにおいて優れた実績を上げた本学学生のニュースに接することは我々教職員にとって何よりもうれしいことです。

この5月29日、MOS世界学生大会事務局から、MOS世界学生大会2012日本大会選考結果のお知らせが本学に寄せられました。MOS「ユージニア館」が完成し、26年にはキャンパス整備が終了して、装いを新たに充実した教育研究施設が完成いたしました。

いま、大学は、本学で学ぶ学生の皆様の一ひとりの「学び」を支え、将来の希望を叶える(人)生設計の意識を高め、総合的な就業力を身につける力を育てるべく、多様な取り組みを行っています。その一つの中で、主体的・自主的な取り組みにおいて優れた実績を上げた本学学生のニュースに接することは我々教職員にとって何よりもうれしいことです。

平成24年度 ND祭 保護者会バザーのご案内とご寄贈品のお願い

今年度も保護者会は、学行事として支援しておりますND祭にて、第7回バザーを開催いたします。

学生と交流をはかり、会員同士の親睦を深めていただく良い機会でもございます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

また、バザーにつきましては、今年度も会員の皆様にご協力いただき、バザー用品のご寄贈を賜りたく存じます。1点でもご協力いただきまますようお願い申し上げます。

なお本年度のバザー収益金は本学の東日本大震災被災者支援として役立てたいと考えております。



★価格は実行委員会にご一任ください。

★ご提供いただいた品物については返品いたしません。

★未使用の日用品(食料品の場合は未開封で賞味期限は2012年11月1日以降のもの)や手作り作品などを直接大学へお持ちいただくか、郵便または宅配便で総務部総務課内、保護者会事務局までお送りください。ただし送料はご負担くださいますようお願いいたします。

★ご提供いただいた品物については返品いたしません。

平成24年度 地区教育懇談会開催のお知らせ

平成24年度地区教育懇談会を、京都 名古屋の2会場で開催します。

修学相談は、学部・学科の教員が前期までの成績をもとに相談に応じます(指導教員とは限りません)。また、学生生活や就職活動についてのご相談にも応じます。

お子様のことで気に掛けておられることがありましたら、この機会に何なりとご相談ください。

* 同封の「参加票はがき」にてお申し込みください。

① 京都会場
日時 平成24年10月6日(土)
13時30分～16時00分
場所 本学
内容 13時00分 受付開始
13時30分 学長挨拶
保護者会会長挨拶

② 名古屋会場
日時 平成24年10月7日(日)
14時00分～16時00分
場所 名古屋グランドホテル
名鉄バスターミナルビル11F
TEL 052(582)2211
JR名古屋駅から徒歩4分
名鉄名古屋駅から徒歩2分

内容 13時30分 受付開始
14時00分 開会挨拶
懇親会
15時00分 個別相談
修学・就職・学生生活

平成24年度 秋の講演会

本学では、今秋、京都府立医科大学との連携記念公開フォーラムや、各学部・学科、各センター主催の公開講座・講演会を開催いたします。お誘いあわせのうえ、お気軽にご来聴ください。

【京都ノートルダム女子大学 創立50周年記念事業】
京都ノートルダム女子大学と京都府立医科大学との連携記念公開フォーラム
「美しく年齢を重ねる生き方-サクセスフル・エイジングを目指して」
日時: 平成24年9月26日(水)
15時00分～17時30分
(14時45分開場)
会場: 京都ホテルオークラ 3階 翠雲講演およびバーベキュー
①京都府立医科大学 学長 吉川敏一氏
②東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山弘子氏(本学学長諮問委員)
③華道家元池坊 次期家元 池坊由紀氏(本学客員教授)
* コーディネーター 京都ノートルダム女子大学 学長 戴内稔(バーベキューカッション)

お問い合わせ:
公開フォーラム事務局(学長室企画調整課) 075(706)3789
* 入場無料 (先着150名)
* 申し込み方法 同封のちらしをご覧ください。

カトリック教育センター土曜公開講座
「今を生きるために キリスト教の思想・文化にふれる」
日時: 平成24年10月6日～12月15日の毎土曜日(10月27日、11月3日、11月10日、12月8日(土)を除く)
会場: 本学ユニゾン会館1階 社会学習センター1
(10月6日のみアセンブリホール)
テーマおよび講師と開催日
①神と自然-苦難の受けとめ方を考える- 菅井啓之(心理学部教授)
10月6日 14時00分～16時50分
②日本年中行事を考える-その特色と祈りの本質- 堀勝博(人間文化学科教授)
10月13日 9時30分～10時50分
③日本年中行事を考える-正月と盆行事を中心に-

堀勝博(人間文化学科教授)
10月13日 11時00分～12時20分
④文明の限界と日本人の心 中沼光雄(本学名誉教授)
10月20日 14時00分～15時20分
⑤死の哲学X-超越の図式- 宮永泉(カトリック教育センター教授)
10月20日、11月17日、12月1日
いずれも 15時30分～16時50分
⑥セザール・フランクのオルガン音楽 ① 久野将健 (カトリック教育センター准教授)
11月7日 14時00分～15時20分
⑦セザール・フランクのオルガン音楽 ②(演奏つき) 久野将健 (カトリック教育センター准教授)
12月15日 15時30分～16時50分
⑧神の真実のみ顔を探して-新しい時代に向かって- Fr.中川博通(カルメル修道会司祭)
11月24日 14時00分～16時50分
⑨メルキゼデクと同じような祭司-『ヘブライ人への手紙』7章- Sr.中里郁子 (カトリック教育センター講師)
12月1日 14時00分～15時20分

⑩聖パウロによる「聖霊の交わり」 Sr.中里郁子 (カトリック教育センター講師)
12月15日 14時00分～15時20分
お問い合わせ: カトリック教育センター 075(706)3764
* 入場無料*申し込み不要
人間文化学科 公開講演会
日時: 平成24年10月13日(土)
13時30分～16時00分(13時10分開場)
会場: 本学ユニゾン会館大ホール
テーマ: 心に響く話しことば
・「声にのせて心をとける」
講師: 浜尾朱美(本学客員教授、元TBS「ニュース23」キャスター)
・「伝わる話しことば」
講師: 松岡正美(本学客員教授、元NHK「きょうの健康」キャスター)
お問い合わせ: 教務学事課 075(706)3745
* 入場無料*申し込み不要
生活福祉文化学部 公開講座
日時: 平成24年10月13日(土)
13時30分～16時00分(13時開場)
会場: 本学ソフィア館4講
テーマ: 「発育期からの骨づくりと食生活」 3-A-Dayセミナー
講師: 塚原典子(新潟医療福祉大学健康科学部准教授)

お問い合わせ: 教務学事課 075(706)3745
* 入場無料*申し込み不要
心理学部・心理学研究科 公開講座
日時: 平成24年10月20日(土)
13時30分～15時00分
会場: 本学ソフィア館5階視聴覚教室
テーマ: 宇宙飛行士の行動を分析する-地球と重力のよりよい理解を目指して
講師: 古賀一男(本学特任教授)
お問い合わせ: 教務学事課 075(706)3745
* 入場無料*申し込み不要
生活福祉文化専攻 公開講演会
日時: 平成24年11月17日(土)
13時20分～14時20分(13時開場)
会場: 本学キャロライン館アセンブリホール
テーマ: グリーフケア～喪失と悲嘆へのスピリチュアルケア～
講師: 村田久行(本学特任教授)
お問い合わせ: 教務学事課 075(706)3745
* 入場無料*申し込み不要
その他の講座やセミナーにつきましては、本学のホームページをご覧ください。

平成24年度
総会報告

平成24年6月17日(日)
13時30分から17時30分まで、京都ノートルダム女子大学にて、平成24年度保護者会総会が行われました。

第Ⅰ部の総会(13時30分～14時15分)では、報告事項として①平成24年度役員報告 ②平成23年度事業報告が行われました。

続いて、①平成23年度収支決算(案) ②平成24年度事業計画(案) ③平成24年度収支予算(案)について審議し、すべて承認されました。

第Ⅱ部の講演(14時20分～15時55分)では、まず、今年3月4日から9日にかけて行われた東日本大震災支援ボランティア活動の報告が行われました。本学生生活福祉文化学部の三好明夫准教授、

第Ⅲ部の保護者懇談会(16時00分～17時30分)では各学部・学科の教員が修学について、学生課職員が学生生活について、またキャリアセンター員が就職について個人面談を実施しました。



役員

平成24年度

会長 北村 茂樹
副会長 辻中 栄里
副会長 三田村 淳市
理事 河佐 佳代子
理事 小島 恵子
理事 勝間 進子
理事 永井 加奈代
理事 徳永 信一
監事 阿部 正子



キャリアセンター便り

本学キャリアセンターが、平成22年の秋より始動してまもなく2年になります。ここへきて業務の内容も整備されてきたのを機に、紙面をお借りして、キャリアセンターの方針と

その内容について、少しご紹介させていただきます。◎本学の学生気質と就業支援

本学の学生は、全体にまじめで協調性はあるものの、積極性にやや欠ける人が多いようです。自分に自信がもてず、すぐに行動する前向きな姿勢がもてない人も少なくありません。そのような学生も含めて、厳しい就職戦線を勝ち抜き、自立した社会人として目標をもって果立って行ってもらふよう支援すること、これがキャリアセンターの役割です。

前身の就職課時代より本学キャリアセンターでは、小規模大学ならではの「顔の見える就職支援」を心掛けてきました。センター職員やキャリアアドバイザーが学生の顔と名前を憶えてそれぞれにあった支援を行う、まさに固有な個性による就職支援です。

しかし、そのようなきめ細やかな支援によって企業を紹介され、面接試験を受けたとしても、自分の知識や能力を適格にアピールしたり、強い就業意欲を相手に伝えることができないは、希望する就職はかない

ません。キャリアセンターでは、就職試験に向かう学生に対し、キャリアアドバイザーによる面接指導や履歴書・エントリーシートの添削指導はもろもろのこと、面接試験を前にした学生に自信をもたせ、少しでもそれぞれの学生の長所を自身でアピールできるよう、親身なアドバイスを職員たちが行っています。

そのようないわゆる「就職対策」もろもろのことからキャリアセンターでは、社会人としての基本的な能力や生活態度そのものを養成することが、まず重要であると認識しています。そのためキャリア教育の充実化を一昨年からすすめてきました。

◎実践力を養うキャリア教育
仲間内でのおしゃべりではない、様々な立場の人との確かな情報のやりとりをしたり、信頼関係を構築していきけるような建設的なコミュニケーションができることが社会人には必要です。また、様々な状況において自ら課題を発見し、解決に向けて積極的に取り組む力が、即戦力として新入社員にも求められています。

このようなコミュニケーション力や物事に対する積極的な態度を養う目的で、プロジェクト型実践演習授業「キャリア形成ゼミ」を、24年度4月より開講しています。本授業は学生が職業現場や生活現場で、企業や地域の人たちと協同で企画立案、実践までを行います。様々な人たちの協働の中で、大学教育で身に着けた知識や能力を主体的に実践しながら企画力、実行力、

コミュニケーション能力を付けているものです。実践活動を経験するまでに、まず「ライフキャリア」という考え方を学ぶことから始め、自己を理解し、社会や労働のしくみ、とりわけ女性が進むべき姿の様々な問題を考えるキャリア教育の「基礎科目」「専門科目」を段階的に学んでいきます。本学キャリアセンターでは、このようなキャリア教育の上に個別対応の就職支援という2本立てで、学生の社会人としての自立や就業を支援しています。

学生の中には、このような本学のキャリア支援体制を十分に活用してもらいたいと思っています。そのためにも、大学での様々な学びに関心をもってもらふこと、そして、キャリアセンターに足を向けていただくこと、この2点を強く求めています。本学では、学生がキャリアセンターに立ち寄る機会が、3年生後半から4年生にかけての就職活動時期に限らず、キャリア教育科目やセンター主催の講座や講習会などで、2年生のときから始まり、さらに卒業してからの就職相談にも応じていますので、学生によっては非常に長いおつきあいになります。

キャリアセンターのスタッフは、常に学生の傍らに寄り添うセンターをめざしています。学生の皆さんには、キャリアセンターを使いこなしていただくことを切に希望します。キャリアセンターのほれば幸いです。キャリアセンター長 中村 久美 (生活福祉文化学部 教授)

○編集工房【ソフトウェアの利用から製本まで、編集のプロセスが学習できる】 ウェブや映像作品の制作・編集、DTPソフトを用いた本づくりなど、情報機器を活用した作業から、展示や手づくり製本など、企画立案にともなう手作業まで、制作と編集を総合的に体験しながら学べる、メディアミックス施設です。

○カフェスペース モダンな雰囲気のカフェスペースを4階に設けます。眺めのよい窓には、四季折々に表情が変わる北山が広がり、五山の送り火の「妙法」が望めます。

○大講義室 通常の授業はもちろん、講演や発表、コンサートなども楽しめるホール的な機能・役割を持つ大講義室です。スクリーンは300インチ昇降式、舞台は拡張可能な移動式です。



なお、新本館竣工後は、ソフィア館耐震補強・全面改修工事(平成25年10月～26年3月)、テレジア館・別館・ユニソン会館部分改修(26年4月～6月)、現ユーゲニア館残存部分(南側棟)解体工事(26年7月～10月)を行い、その後の外構工事の終了(26年11月)により、本学の創立50周年記念事業である北山キャンパス総合整備計画が完結します。

本学は、この新しいキャンパスの整備が、学生の主体的な学習と卒業後の自立のためにふさわしい教育環境の提供につながることを目指し、今後とも取り組んでまいりますので、保護者会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局長 下地隆

今後の北山キャンパス総合整備計画について
《ユーゲニア館(北側棟)が解体され、新本館着工へ》

北山キャンパス整備計画については着実に進展しているところですが、平成24年2月から3月にかけてユーゲニア館3階日ユーゲニア寮の間仕切改修を行い、4月～5月に改修した場所にて、ユーゲニア館北側の研究室、事務室(学生課、キャリアセンター、保健室等)を移転しました。その後、7月末にかけてユーゲニア館(北側棟)の解体工事を行いました。



編集後記

昨年の中秋節撤去に続き、また思い出深いユーゲニア館(北側棟)が解体されました。50年の歴史を刻んだ本学の施設環境が大きく変貌しつつあります。寂しい思いもする一方で、今後いものです。(S・T)

解体されたユーゲニア館(北側棟)跡地においては8月末までに埋蔵文化財発掘調査が実施される予定ですが、その後、9月19日には新本館の起工式が執り行われ、いよいよ新設工事が始まります。写真のように約半分が解体されユーゲニア館は以前の面影はなく、寂しい思いもしますが、平成25年秋には、施設や機能を拡充した北山キャンパスの中核である新本館が装いを新たに完成します。

具体的な施設内容としましては、図書館機能と教育・研究のための情報拠点の機能を持つ学術情報センター、学生食堂・

カフェ・売店、大講義室を含む講義室・演習室、聖堂、イマージョンスペース(多言語学習空間)など最新の環境が提供されます。以下新本館の特徴的な施設を紹介いたします。

○ラーニング・コモンズ【今までの図書館に新たな機能をプラス】

図書館では、従来に引き続き、コレクションを充実し、静かに個人で学習できる環境を提供するとともに、欧米諸国で注目され、日本でも近年次第に浸透しつつあるラーニング・コモンズの機能を持たせます。このラーニング・コモンズは、書物からインターネットまで多様なメディアを活用しながら、テーブルを囲んで学生同士や教員と議論を深められる共有スペースで、静かに個人で学習できる環境と併せて、ディスカッションやグループ研究等活発なコミュニケーションの場として主体的な学習をサポートします。



○アクティビティスペース【学生の主体的な学習、実践的な学習をサポート】 グループ作業の必要な授業はもちろん、プロジェクト型学習やプレゼンテーション、ゼミ発表の準備、研究のための資料作成など、実践的かつ学生主体の学習に適したスペースを設けます。

○イマージョンスペース【サロンの機能を持つ施設で言語が体験的に学習できる】 英語や中国語をはじめ、多言語を語学として学ぶだけでなく、習得した言語を通じて、その文化を体験的に学ぶことのできるサロンの機能を持つ施設で、よりよい言語学習につなげます。教室での言語学習の枠組みを超えて、多言語・多文化の学習機会をキャンパスの日常生活に広げ、人々との関わる充実した学習環境を提供します。